身体障害者診断書・意見書(肝臟機能障害用)

総括表

氏 名		年	月	日生()歳	男	女
住 所							
① 障害名(部位を明記)							
② 原因となった 疾病・外傷名				その他の事			災 、)
③ 疾病•外傷発生年月日	年	月	日·場	·所			
④ 参考となる経過・現症(エックス線写真)	及び検査所見	見を含む	t.)				
障	害固定又は	障害確	確定(推	定)	年	月	日
⑤ 総合所見							
				来再認定		· 不	
			〔再	認定の時	期	年	月〕
⑥ その他参考となる合併症状							
上記のとおり診断する。併せて以下の意	意見を付す。						
年 月 日							
病院又は診療	療所の名称						
所 在	地						
診療担当科名		科		医師氏名			(※)
11. 17. to the control of the contro				人が手書きしない			ください。
身体障害者福祉法第15条第3項の意				ても参考。	意見を記	4人」	
障害の程度は、身体障害者福祉治 ・該当する (云別衣に掲り 級相当)	うで	与に				
•該ヨりる (•該当しない	极性目)						
・該ヨレない ※指数加算の場合は右欄に積算を記	記入						
注意 1 障害名には現在起っている障害		見視力	産害 ii	両耳ろう ま	十下肢	麻痺	心臓
機能障害等を記入し、原因となった							

- 窄等原因となった疾患名を記入してください。
 - 2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見 書」(別様式)を添付してください。
 - 3 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて次頁以降の部分について お問い合せする場合があります。

1 肝臓機能障害の重症度

	検査日(第1	囯)	検査日(第2回)			
	年	月 日	年	月 日		
	状態	点数	状態	点数		
肝性脳症	なし・I・II III・IV・V		なし・I・Ⅱ Ⅲ・Ⅳ・V			
腹水	なし・軽度 中程度以上 概ね ℓ		なし・軽度 中程度以上 概ね ℓ			
血清アルブミン値	g/dl		g/dl			
プロトロンビン時間	%		%			
血清総ビリルビン値	${ m mg/d}\ell$		${ m mg/d}\ell$			

合計点数	点	点
(○で囲む)	5~6点・7~9点・10点以上	5~6点・7~9点・10点以上
肝性脳症又は腹水の項目を 含む3項目以上における 2点以上の有無	有 · 無	有 • 無

- 注1 90日以上180日以内の間隔をおいて実施した連続する2回の診断・検査結果を記入すること。
- 注2 点数は、Child-Pugh分類による点数を記入すること。

〈Child-Pugh分類>

	1点	2点	3点
肝性脳症	なし	軽度 (I ・ Ⅱ)	昏睡(Ⅲ以上)
腹水	なし	軽度	中程度以上
血清アルブミン値	3.5g/dℓ超	$2.8\sim 3.5 g/d\ell$	2.8g/dℓ未満
プロトロンビン時間	70%超	40~70%	40%未満
血清総ビリルビン値	2.0mg/dℓ未満	2.0∼3.0mg/dℓ	3.0mg/dℓ超

- 注3 肝性脳症の昏睡度分類は、大山シンポジウム(1981年)による。
- 注4 腹水は、原則として超音波検査、体重の増減、穿刺による排出量を勘案して 見込まれる量が概ね10以上を軽度、30以上を中程度以上とするが、小児等の体 重が概ね40kg以下の者については、薬剤によるコントロールが可能なものを軽 度、薬剤によってコントロールできないものを中程度以上とする。

2 障害の変動に関する因子

	第1回検査	第2回検査
180日以上アルコールを 摂取していない	O • ×	O • ×
改善の可能性のある 積極的治療を実施	· ×	○ · ×

3 肝臓移植

肝臓移植の実施	有 · 無	実施年月日	年	月	目
抗免疫療法の実施	有 • 無		•		

注5 肝臓移植を行った者であって、抗免疫療法を実施している者は、1、2、4 の記載は省略可能である。

4	補気	と 的な 肝機能診断、症状	に影響する病歴、	日常生活活動	の制限				
			血清総ビリルビン値5.0mg/dl以上				<i>+</i> -		∕mr.
		検査日	年	月	日	有	•	無	
		建 空的43匹搬&参照	血中アンモニア濃度150µg/dℓ以上						4mr.
		補完的な肝機能診断	検査日	年	月	日	有	•	無
			血小板数50,000	/mm³以下			有	•	無
			検査日	年	月	日	1		////
			原発性肝がん治	療の既往			有		無
			確定診断日	年	月	日	作		////
			特発性細菌性腹	膜炎治療の既行	注		有		無
			確定診断日	年	月	日	有	•	7111
		症状に影響する病歴	胃食道静脈瘤治療の既往			有		無	
	日常生活活動の制限		確定診断日	年	月	日	ָד.		7111
		現在のB型肝炎ス 的感染	ZはC型肝炎ウ <i>-</i>	イルスの	持続	有•		無	
			最終確認日	年	月	日			
			1日1時間以上のの強い倦怠感及				有	•	無
		1日に2回以上の 気が月に7日以上	•	30分以上	の嘔	有	•	無	
			有痛性筋けいれ	んが1日に1回り	以上ある		有	•	無
				該当個数					個
			[44.77		→)]				
				」な肝機能診断 影響する病歴の			有	•	無